

# 全佛通信

七月号  
発行所 財団法人全日本仏教会  
東京都中央区築地三ノ木一丁目本願寺内  
電話54703三三  
編集者 高橋忠雄  
印刷所 栄昌堂

## 張主 第六回全国会議を終えて

### —全日仏を充実発展させよ—

才六回全日本仏教徒会議は非常な盛況裡に無事終了した。前大会以来約半年余の準備期間があつたとは云うものゝ、全日仏の機構改革、人事の移動等が続いたため、関係者にとつては全くの短時日と思われなかつた。準備には色々表面に出ぬ苦労がつきものだ。それが正しく理解されている時は有難いが大会当日だけの表面観では本質的な問題にまで言及されるのには閉口だ。今吾々はそれらをも有難く甘受して反省をしている。今回の会議が非常な盛況で、一応成功したと云われている原因を考へて見るに大略左の諸点がその要因であると思う。

要因であると感じている。今静かに思う時、議案の整理に運営方法に設備、弘報宣伝にまだ一改善努力せねばならぬ事が一様あつてむしろ今後こそ愈々重大な危機に直面するのではないかと思われるものがある。今これらの内特に全日仏当局として直に考究しなければならぬと思われ、二、三の点にふれてみよう。

(1) 会場が東京であつたため本部との連絡が極めて緊密であつた事  
(2) 準備期間が短かつたにもかかわらず関係各団体代表より成る準備委員会が順序よく開かれ各方面の準備が一応整備された事  
(3) 浅草寺当局、東京仏教団当局が大乗の見地に立つて終始支援と協力を惜しまなかつた事及び議長団並に議事運営委員の各位が真剣に会議ととりくんで頂き総会は勿論部会の細部に至るまでも指導運営に努力を傾注された事等がその主



一、全一仏教運動の理念と実践との線まで期り上げてゆくか。  
二、全日仏と全日本仏教徒会議との関係を再検討し、より明確ならしめよ。  
三、議決した各提案を充分検討した上、出来得る限り予算化して実践活動に移せ、又その結果を機会ある毎に報告せよ、等々である。

右の諸点は何れも全日仏として従来努力し来たつたものであるが仲々期待される程の成果のあげられなかつたものである。今後共期待に副うべく努力する事勿論でもあつたが尚々として声を大にして叫ばねばならぬことが二、三ある。之は右期待に應えるためにも緊要なること勿論である。その一、二に於てみよう。

(1) 全日本仏教会の存在価値を正しく認識し之が育成強化こそ夫々の宗派団体の進展充実につながる問題であること云う事である。  
(2) 全国都道府県仏教会組織をこの際速に育成強化するために中央、地方相呼応して徹底せる運動を興すことである。地方組織強化の運動は全日仏発足前より現在に至る迄極めて地味ではあるが黙々と続けられてゐるに反し、その成績又遅々としてゐるのは一体如何したわけだろう。これには幾つかの原因も考へられるが先ず地方代表者各位の奮起を促したいと思う。

先般も大会終了後東京仏教団主催の地方代表者懇談会の席上出席した多くの地方組織代表者の顔ぶれを見ると本会議には殆んど顔も見せずいた人々が堂々と出席して中央からの連絡不十分を訴えて大会のある事を知らなかつた等と云う放言した者も一、二あつたが之は全く奇怪至極と云わざるを得

ない。本部からの連絡はうるさいほど出ているのに一回の返事すらよこさず(勿論負担金の如き一銭も納入せず)調査した処も仏教組織は表面的のもので殆んど合合らしはものすらもたず然も御本人は戦前戦後を通じて会長として厳然と鎮座している実情にはいさゝかあきれざるを得ない。全部が全部ではないがその他不在会長等々複雑である。この際これらの諸大徳の仏者としての自覚に訴へたい事勿論であるが何ともしもその他の地方有志の奮起をお願い再組織の氣

運を盛り上げる以外に方途はないようである。  
この他未だ沢山あると思うが全日仏当局としても旧に倣して全機能を動員して本大会の成果と真剣に取り組む覚悟と実践とに迫られていと思う。一千人の参加人員に氣をよくしてゐることは到底出来ない。日を追うて逐次夫々の機関にはかつて結果を報告したいと思ふ。全国仏教者の更に熱烈なる御支持と御協力をと願うものである。(た)

## 大会宣言

いまや、圧倒的な民衆の要望を反映して、世界の情勢は平和への明るい見透しを可能にしているが、一方戦争の危機が全く去つたとは言ひ得ず、それに伴う民心の不安も未だ消し難い。国内においても、物質面における一応の安定にも拘らず、精神面の混迷は、なお覆い難く寧ろその頹廢が益々強く叫ばれており、機械化した現代社会機構の中での人間性の喪失が問題とされてゐる。

## 決議

一、われわれ全日本仏教徒は、現代がわれわれに課する諸問題に於ては万人救済の先頭に立つて精進せんことを期す。  
一、われわれ全日本の各宗各派、都道府県仏教会、その他仏教主義諸団体は、一丸となつて全一仏教運動を推進し、その使命完遂に邁進せんことを期す。  
一、われわれ全日本の仏教徒は、アジア諸国仏教徒更には全世界の仏教徒と一層親善提携を強め、仏法による人道の確立と世界平和の招来に貢献せんことを期す。  
昭和三十三年六月十六日  
才六回全日本仏教徒会議東京浅草寺大会

# 一千の代表本堂に溢れ

## 大会才一日の幕開かる

### 開会式・特別大法要

昨日までの梅雨型の天候もからつと晴れ渡つた朝、庶民信仰の中心大多數の日本人の親から子、子から孫へと伝承され親まれて来た浅草観音、聖観音宗浅草寺本堂前には右に大仏旗、左に大法輪旗（何れも五間に七間）がしつとりと朝露にぬれてその大偉容を誇り、大香爐からはすでに香煙がもうもうとあがっている。日々の雑沓から未だ覚め切らぬ参道（仲見世）をすでにチラチラとトランクをさげた全国代表が集つてくる。

愈々今日は才六回全日本仏教徒会議の開会式である。

十分もたぬ裡に本堂前の大天幕内の受付前はビッシリと並ぶ代表で一杯、その間を全日仏事務局職員、浅草寺、浅草仏教会の奉仕の人々がテキパキと気持良く事務を処理してゆく。

次才々々に受付を終つた人々は本堂内に着席して行く。本堂の一角からは静かに仏教聖歌のメロデーが流れてくる。

やがて会長高階瑞下の温顔も見えた。各来賓も次々と受付へ立つては来賓控室に入つていく。各代表は益々増加してさすがの大受付でもいさゝかさびき切れない様子だ。

やがて定刻パリー語による三婦依文の大合唱（東京仏教学生音楽研究会）で開会の幕は切つて落された。

総会場たる浅草寺本堂内陣正面には本尊仏のおずしが金色さんぜんと輝き、その前に数々の供物が献



ぜられ、その両側には全日仏の献花が一きわ目立つている。

向つて右側に本会々長、副会長列坐し次いで首相以下国内来賓、外国来賓が椅子にかけ左側には各宗管長、総長及び各界代表がずらりと座している。

外陣は全部椅子席で中央ステージを囲んで各宗代表。各地区各団体代表夫々整然と並びその間を各

全日仏代表挨拶  
理事長代理 渡辺真海 常務理事  
三婦依文同誦  
（全日仏会長高階瑞仙禪師）  
開催宗派代表挨拶  
聖観音宗管長 清水谷大僧正  
各国来賓祝辞  
総理大臣 岸 信 介氏（代理）  
文部大臣 灘尾弘吉氏（代理）  
外務大臣 藤山愛一郎氏（代理）  
外国来賓代表  
駐日セイロン国大使  
フオンセーカ氏  
（オオンセーカ氏）  
世界平和祈念 特別法要  
各宗祖師報恩

大法要終了後記念撮影、中食と続いた。め果して午後一時迄に会場に集り得るかどうか心配したが定刻前すでに殆んど満員、大改装で見違えるほど美化された浅草公会堂は仲々の熱気だ。どんな討論会が行われるか少し気になつたが一時半小林アナによつて開会されるや思つたよりも静かな、むしろ盛り上り方が少ないと思われる程の内に順序よく話は進められて行つた。

但講師、論題、参加者等の関係で思つたほど掘り下げられなかつたが新しい企画として各方面の協力のもと一応成功したと思う。

尚この討論会は翌十五日午後一時から全国に向け放送され、大会の各部会場に於ても聞く事ができ

## ◎公開放送討論会 続いて総会開かる

大僧正しずくんと入堂着席せらる。こゝでセイロン大使、インド大使代理官、ビルマ大使代理、ネパール国仏教会長アムリタナンド比丘等が続いて御本尊への献華を行う。合唱礼拝する人、黙礼する人、夫々のお国柄お人柄を表す敬虔な姿である。

次で云何順、散華、発願文（大導師）五大願、対揚、読経（普門品偈）と次才に式はすゝみ、朗々と響く普門品偈の内を全日仏会長副会長（倉持秀峰、長井真琴師）来賓代表、常務理事等が夫々静かに進前焼香せらる。かくて本尊咒回向文が終り参会者一同ホット一息入れた処で導師式衆が退堂されて大法要は終了したのである。

●「論題」  
仏教は現代生活にいかに関与しているか。

●「講師」  
朝比奈宗源師（田寛寺派管長）  
友松円諦師（東京神田寺主管）  
中谷吉吉郎氏（北大教授理博）

◎総会 午後二時より 於浅草公会堂

定刻司会者によつて、総会開会の幕が開かれた。放送討論会の興奮未ださめやらぬ各代表は夫々の団体又は地方の代表発言者として静かな内にも真剣な空気が会場一杯にあふれている。一階も二階も超満員のすし詰め東京大会にふさわしい風景である。総会は予め定められた左の順によつて整然と進められてゆく。

◆飯議長の着席（栗本書記長）  
◆議長団の推薦  
飯議長の提案で左記各氏が夫々議長団として全会一致の拍手の裡に推薦され登壇着席された。

西沢浩仙、田丸道忍、永倉唯嘉、千々と和宝天、五十嵐亮俊、長岡慶信、北島教真、阿部電伝、安藤寿雄、山本杉の各氏

◆議長団代表挨拶  
西沢浩仙氏（曹洞）  
◆議事運営委員代表挨拶  
委員長 壬生台舜氏（浅草寺）  
◆議事運営方針説明  
（狩野獲麟氏 同志クラブ）

◆全日仏報告  
太田事務総長の全般的報告の後、佐瀬総務、栗本組織、石川国際各局長より夫々詳細具体的に報告が行われた。

◆議案上提が書記局より行われ之に対して議運より説明あり次いで各部会別に分けられてそれを承認した。一般討論は他に余り発言がなかつたので才卅七号議案だけ提案者の希望により阿部電伝氏より提案理由の説明が行われた。

◆日程その他の説明  
書記局より期間中の日程会同部会等に関して詳細な説明が行われ全員之を諒承した。かくて午後四時五〇分閉会を宣した。

◎参加代表 全員招待懇親会  
午後五時より 於伝法院庭園  
伝法院庭園は見違えるほど美しく手入れされ池のほとりのあやめが一しお目にしみるようだ。庭園各処にしつらえられた「ビール」おでん「みつまめ」おそば」等の模擬店は忽ちの人だかり、五月の陽光のもと三々五々芝生に打ちつくるいだ代表達は爽に朗らかに楽しんで談笑している有様は従来の大会に見られない風景であった。

最後に長井全日仏副会長の発声で浅草寺及び大会の万才三唱で散会した。

# 各部会一斉に開かる

大会二日目

## 才一部会

◎今日の仏教文化活動は如何にあるべきか？

## 才二部会

◎今日の全二仏教運動は如何に展開すべきか？

## 才三部会

◎日本仏教の国際交流を如何に進むべきか？

## 才一部会

才一部会は、部長長星野俊英氏（大正大教授）副部長長阿部諒重（栃木県仏）白川良純（大谷派）米山久（仏婦）の三氏により、三百余名の代表参加を得て開かれた。  
①仏教思想を根柢とする「倫理を明らかにして、今日の道徳教育に寄与しよう。」

## 才二部会

（梵人会 山本啓量）  
現今の所謂道徳教育の問題、社会教育における「倫理」のあつかい方などについては、この際仏教徒は沈黙すべきではなく、仏教思想に基く倫理を明らかにして積極的に関与し、現代の頹廃の原因や、仏教界の問題に対する無関心乃至無施策への批判意見も出されたが、結論として提案の主旨が賛意を受け、なお更に進んだ研究と具体策は全仏教化・教学委員会へ附託と決定した。

## 才三部会

（梵人会 吉田昭炳）  
仏教寺院その他仏教団体の経営する幼稚園、保育園は、全国で相当の数に上るが、それにたずさわる教職員が仏教的教養をもつていない場合、幼児に対する仏教教育上非常に有益なことだ。このことは是非実現せねばならず、その具体策として全仏で教師用の仏教教養読本のようなものを編纂して欲しいとの提案説明が行われ、主旨は全面的な賛同を受けたが、全仏としても直ちにこれを実施する用意

## 才一部会

（全日仏青 仲田順和）  
現代の教化活動は、どうして現代大衆の生活に直結されている種々の文化を通じて、これを活用しそれらの肉付けにより生きた宗教によつて教化すべきだとの提案説明が行われ、種々意見が出された

が、提案の綱概は支持されながら、具体的な方策に明瞭を欠く点が指摘された。しかし、重要な示唆を含む提案であるところから、具体化については全仏教化、教学委員会に検討考究を進めることに決定した。

⑩幼、少、青年に対する一貫した教化対策を樹立しよう。

（全日仏青 猪俣興一）  
いま幼児を対象として仏教幼稚園は盛大だが青少年に対する教化が殆んど行われていない。

従つて仏教化は幼年時代で止つてしまつてゐる。日曜学校、子供会、青年会等で各世代の青少年を組織し、把握することが、教化活動の中で占める役割は大きいとの趣旨説明が行われ、全面的な賛成を受けた。全仏当局は、各宗団、団体等で行われている青少年教化の実策について調査研究し、これを更に推進すべく輪旋の勞をとることを約し、具体的に教化・教学委で研究を進めることとして本提案は可決された。

⑪仏教幼稚園、保育園の教職員に仏教的教養を与える方途を講じよう。

（梵人会 吉田昭炳）  
仏教寺院その他仏教団体の経営する幼稚園、保育園は、全国で相当の数に上るが、それにたずさわる教職員が仏教的教養をもつていない場合、幼児に対する仏教教育上非常に有益なことだ。このことは是非実現せねばならず、その具体策として全仏で教師用の仏教教養読本のようなものを編纂して欲しいとの提案説明が行われ、主旨は全面的な賛同を受けたが、全仏としても直ちにこれを実施する用意

は無いが努力する旨当局より答えその具体的な内容について教氏の意見が発表された。  
⑫全一仏教は三法印を中心として展開すべきである。

⑬仏教により今日の科学の迷妄を打破し教化活動を強めよう。  
（仏教同志クラブ 山本洋一）  
右両案について提案者の詳細な説明が行われ、趣旨については大方の賛同があつたが、三法印が直ちに總ての仏教の中心ではないといふような反論も出され、提案者又之に反論する等仲々活発状況を見せたが直ちに両案を採択することは保留された。



大寺草堂東京會議徒教日本全日

写真は熱論中の風景

◎寺院共同による信仰相談所を設置しよう。（近代仏教研究会）  
現在の教化活動衰微の原因は、信徒がもつてゐる生活上の苦悩に真に取り組んだ教化がなされてない所にある。この現状を打破するには、寺院共同の信仰相談所設置が必要だとの趣旨説明が行われ全面的な賛成を受けた。更に信仰相談のみならず、広く生活一般の雑話の身上相談に宗教家がいないが、全仏から送り込んで欲しい。

各宗共同の相談所の場合は信仰上の混乱を来す恐れがあるから偏見をとり去ることが必要だ。又個々の寺院が即信仰相談所であらねばならぬ等々の意見が活発に発表された。  
⑭仏教徒としてマス・コミ対策を確立しよう。  
（尼僧法団 小島賢道）  
最近マス・コミで仏教が娯楽の対象として嘲弄的に扱われていることが多い。仏教界としてこれを黙視せず宜しく対策を打ち立て、善処すべきだとの提案理由が説明され、仏教界でも自省すると共にそのような不当な取り扱いに断乎たる抗議を行つべきだとの意見が出され、具体的な態度については全仏の各種委員会等に関心を怠らず対処することとして原案通り可決された。但現代マス・コミの実態を更に充分研究調査しないで安易に取組む事は反つて弊害がある事等が指摘された。

才二部会  
才二部会は部長山本洋一氏、副部長長准谷健（孝道教団）田村慈宏（日蓮宗）牧野ます（仏婦）の三氏、代表二百五十余名の参加のもとに開かれた。  
⑮全一仏教運動の「綱領」をつくり今後の進展を期そう。  
（梵人会 河合智海）  
全一仏教運動を大衆的な規模で大きく前進させるためには、どうしても中心になる「綱領」を明確に打ち出さねばならないとの提案者説明が行われ、綱領の具体化について二、三意見が出されたが、組織局長からの作成は各方面からの検討審議を必要とするところから、全仏内に起草委員会的なものを設置して実現を期したいとの発言があり、これを諒承して可決した。

⑯仏誕、成道、涅槃の行事を全国的規模で行うよう、全仏において

総合的組織的計画をたてよ。  
（梵人会 河合智海）  
提案者より理由の説明が行われ、近來漸く全国各地で如上行事が広く行われるようになったが、これに組織性をよもたせることの必要が説かれ可決された。  
⑰世界恒久平和実現促進のため、各宗代表者会議を開き、日本仏教界の平和運動方針を具体的に確立しよう。  
（日蓮宗 山崎海弘）  
提案者より詳細な理由の説明が行われて、永平寺大会以来の決議が、真に具体化されていない点に遺憾の意が表明され、この際切実な問題を認識して、仏教界を大きく結集する必要があるとされた。組織局長より、全仏自体としての努力が報告され、原水爆禁止宗教者懇話会への協力等について説明が行われた後、加盟各団体の協力を要請した。また平和のための会議は提案にあるような「宗派」だけのものではなく、広くあらゆる仏教団体を含めて行われるべきだ。また世界連邦運動に積極的に協力すべきだ等の意見も出され、結論として全仏の社会・平和委員会が提案の趣旨具体化について善処することに決定をみた。

⑱核兵器禁止、軍縮協定促進のため、全仏教徒一丸としこの運動を展開しよう。  
（日蓮宗 近代仏教研究会）  
提案説明が行われ、二、三の意見が出されたが、前⑨号議案とも関連するものとして趣旨は賛成され、具体化は社会・平和委に付託された。

⑳地方仏教會を拡充するため、適当な地域に全日本仏教會出張所を設置されたい。  
（京都府仏教會）  
⑲仏教化活動資金を得るため、

⑳地方仏教會を拡充するため、適当な地域に全日本仏教會出張所を設置されたい。  
（京都府仏教會）  
⑲仏教化活動資金を得るため、

地方仏教会において仏教奉賛袋を配布すること。

(京都府仏教会)

而案とも趣旨は全面的な賛成を受けたが、その具体化についてはなお研究の必要があるので、全仏組織委員会乃至総務委員会で、これに善処することとして可決決定された。

⑩宗派、僧俗、地域、職域を超越した組織体制を確立しよう、

(全日仏青 猪俣興一)

全一仏教運動の具体的な推進のためには、組織の面でも全一的な体制を確立しなければならぬ、との趣旨説明が行われ、全一運動推進の決意について当局の意向をただす質問等がなされたが、現在の仏教界の状況からこの趣旨を具体化するには、様々な角度からの研究と努力が必要であり、提案趣旨を生かして地方組織の在り方を強化して行きたいとの当局発言を諒解して本案を承認可決した。

⑪全日仏は「人間連珠」の別動組織を作れ。

(埼玉県仏 島田誠敏)

本当に人と人とを結合した固い組織体制が現在望まれているとの提案説明が行われ、そのように努力することを申し合わせて可決された。

⑫宗門大学以外の全国諸大学（これに準ずるものを含めて）の学友会組織の中に仏教青年会乃至仏教研究会を誕生公認せしめ、やがて社会各方面の指導者として巣立つべき大学生に各学問分野の特徴を生かした「仏青救国」の情熱を湧かしめよ。

(全日仏青 二宮泰臣)

提案説明が詳細に行われ、原理的な賛成を受けたが、その具体策を研究する必要があると原案の趣旨が承認された。

⑬全一仏教の名において仏教政党を樹立しよう。

(仏教同志クラブ 狩野徳麟)

今こそ仏教徒はひとりよがりの現実逃避を改め、仏教の信念をもつて政治力を結集し、ネールの才三勢力の指導力を仏教世界観の中から打倒してねばならぬ。これを實現するため全仏内に七人委員会を設けよ、との提案説明が行われ、活発な意見交換の結果、全仏の社会平和委員会がこれを研究発展させることに決定をみた。

⑭全仏教寺院、学校、家庭に仏旗を普及し、仏日に掲げよう。

(全日仏婦)

われわれすべてが仏教徒の象徴である仏旗を掲げることによつてわれわれの勇気を鼓舞し活動の意欲をもえ上らせ、連帯の意識にめざめる。仏旗の普及は、仏教運動推進の上で具体的に大きな役割を果す、との提案説明が行われ、満場一致これを可決した。

⑮「仏教徒のうた」を普及しよう

(全日仏青)

全仏制定「仏教徒のうた」は未だ普及がたりない。この際全仏教徒に普及し、あらゆる機会にこれを歌おうとの提案が全面的な賛成を得て可決された。

⑯仏教徒会議の決議を尊重し、これを実践することによつて全一仏教運動を推進しよう。

(近代仏教研究会)

全一仏教運動の発展のためには仏教徒の大きな結果を必要とし、そのためには仏教徒会議の決議が尊重され、これが生かされなければならないとの提案説明が行われ、全仏定款中に仏教徒会議を規定すること、各専門委員会を一層強化すること等に多くの意見が出されたが、その主旨は賛同を受け具体的な取り扱いは全仏総務委員会で

善処することに決定した。

⑰恒久平和建設の本尊として仏舍利塔を建立しよう。

(日本山妙法寺 丸山行遠)

提案者説明の後、二、三日の意見が出されたが、全仏と日本山当局とで話し合い、全仏教徒が仏舍利塔建立に協力出来るよう調査の上、一般に呼びかけるという意味で原案の趣旨が諒承可決された。

⑱卯月八日はすべての人を仏に生かしめよ。

(全日仏婦 吉井隆子)

囚人に対する仏教団体の対策強化を訴えた提案の主旨は賛同を受けたが、四月八日に釈放というよう具体的な数点について疑問が提出され、少くなくとも同日の仏教団体という刑務所訪問等は実現しようといふことが可決された。

⑳教職員勤務評定施行等をめぐり国民教育の上で各地で未曾有の紛争が続けられておるが之に対し仏教者として如何なる態度をとるべきだろうか。

(日本仏教賛仰会)

児童生徒に悪い影響を及ぼす教員の組合活動に対して仏教徒がはつきりした態度をとるべきだといふ意見、この問題が保守、革新の二大勢力の間におかれている複雑な事情を考えず、軽々しく行動すべきではないという意見、私を精神とする仏教の立場から、何らかの発言が当然であるというよう意見がたゞかわされ、結局、仏教徒の行動が政治に利用されないため、各人が父兄として、教師として、解決に努力するということになり、また全仏教、教化委は常に教育問題に関心をはらうべきことを決定した。

才三部会

才三部会は部会長木全大孝氏

(静岡原仏) 副部長佐藤覚雄 (兵庫原仏) 雲藤義道(国際委員) 川嶋貞子(仏婦)の三氏で、代表六十七名が出席して開かれた。

①世界仏教徒会議に南北両仏教の学者による討議のための時間を充分用意さすべく全仏からW・F・Bへ勧告すべく可決。

(梵人会 村沢義二郎)

提案者により趣旨の説明が行われ、極めて適切な提案であるとして満場一致これを可決した。

②仏教英訳会を結成しよう (ヤング・イースト社村野宜忠)

日本仏教の国際交流を推進するには日本仏教の古典その他を英訳することが才一の必須条件であるとの主旨説明があり、具体策としては全国にかくれている仏教英語執筆の堪能者リストを作成し、その会合を催すことから発足すると共に若い世代の中から後継者を育成するよう努めたい旨の意見開陳があつて満場一致これを可決した。

③仏教徒移民を奨励し、かつその訓練所及連絡機関を作ろう。

(全日仏青 仲田順和)

提案者により詳しく説明があり賛成意見の開陳があつたが、現在の実状からみて、次の様に修正可決を見た。

「仏教徒移民を奨励し、その連絡機関の強化と一般移民及び海外派遣技術者の仏教教育の実施をはかり、去る四月全仏内に設置された仏教海外普及協議会を強化すると共に外務省等とも協議し、提案趣旨の線にそつて大いに努力する旨の報告があつた。

④清新な全一仏教僧教団の再現をもつて国際仏教交流の場としよ

(尼僧法団 小島賢道) この件は資金等とも関連があるので全仏当局において諸他の事業との総合計画を立て、マッサナキよう取り計らいたたいとの意見があつて承認可決された。

⑤南北朝鮮仏教徒、蒙古人民共和国仏教徒とも交流を促進しよう。

(近代仏教研究会)

提案者より (a)北朝鮮龍山墓地の日本人遺骨引取りに仏教徒として積極的に協力する。 (b)在日朝鮮人戦争殉難者の遺骨を南北朝鮮に送還すべく努力する。 (c)八月の原水爆禁止世界大会に訪日する蒙古人民共和国仏教代表を歓迎する。 の三項について詳細説明があり、右促進を可決、決定した。

⑥政府は中国人俘虜殉難者の遺骨送還に自らの責任を果すべきであることを要求する。

(近代仏教研究会)

提案者により説明の後、種々意見が出され、原案通り可決された。

⑦世界各国の憲法に戦争放棄の条項を採録することを勧告しよう。

(聖観音宗浅草寺 黒田亮文)

本案の趣旨は、世界の平和を要望する仏教徒が、その具体的な方法の一つとして「各国が憲法に戦争放棄の宣言を採録するように要請しよう」ということであり、全員その趣旨には賛成したが、同時に「仏教徒としての要請」は仏教原理に基づくことが当然であるから募金運動の討議については才二部会へ回付することに決定した。

才二部会

才二部会は部会長木全大孝氏

# 力強い「仏教徒の歌」合唱の内

## 全国会議の幕靜かに閉ざる

…大会三日目…

### 緊急動議 (才三日目総会)

一、今大会々場たる聖觀音宗淺草寺に対する感謝決議

永倉議長之を採り上げ一同にはかりたる所全員の賛同を得たので議運に之が起草方を求めた。別所(曹洞)委員之をうけて左記感謝

決議文案を朗誦拍手をもつて可決承認された。  
浅草寺当局への

### 感謝決議

才六回全日本仏教徒会議の開催に當り浅草寺当局は、戦前にまさる復興事業の遂行中にも拘らず快

## 総理大臣祝辞

本日ここに、才六回全日本仏教徒會議東京浅草寺大会の開催されるに當り、祝意を表する機会を得ましたことは、私の深く欣幸とするところであります。

わが国の文化の発達成長について、仏教の影響感化は極めて大でありました。今日においても国民の多数が仏教の信徒であり、その哲理は実生活上にも広く生かされているのであります。

私は昨年五月及び十一月の二回にわたつて東南アジア諸國を訪問し、各國の指導者と語り合い、隔意ない意見を交換して参りましたが、わが日本に対する各國の信頼と期待とが著しく高まつていることを知り、國際社会においての我國の使命と責任の甚だ重大であることを痛感致しました。

而してこれら諸國の概ねは仏教國でありまして、相互理解と親善増進の上に、仏教の果す役割の極めて大であることを知り得たのであります。

本日全国の仏教各宗各派代表各位が、全日本仏教徒會議を開催し、日本仏教徒の総意を結集して、わが國文化の向上に資し、更にアジア仏教諸國民との親善交流を図り、世界平和の実現に努力されますことは、誠に意義深く慶賀に堪えません。

本會議の成果を心より切望して祝辞といたします。

昭和三十三年六月十四日

岸 信 介

く会場を提供され、一山をあげて物心両面に亘る最大の配慮と格別の厚遇を与えられた。更に地元各界も心からの協力を惜しまれなかつた。吾々一千名の大会参加者は深く之に感激し、本大會の名をもつて茲に深甚なる感謝の意を表す。

右決議する。  
昭和三十三年六月十六日  
才六回全日本仏教徒會議  
参加者一同

二、明年度本大會会場設定に関する動議

(東京仏教団 星野純義)

右動議は予め議運の諒解を得てあつたので直に議長之を一同にはかつた。之に対し賛成発言一、二あつた後全員拍手の裡に賛同可決された。之に対し少し遅れから關西事務局局長千々和知恩院長長登壇皆様の御期待に極力応えたいと思つて詳細は飯つてから相談し事務局に御報告するから何卒よろしくとの挨拶があつた。

三、本大會の総意を内外に表明するための決議宣言文を発表する事  
の動議。

(静岡県仏代表)

本大會の総意を内外に表明し仏教徒の決意を固めたいと思つて如何と云ふ動議に対し議長之を一同にはかり全員賛同を得た。そこで左記の各氏を起草委員として委嘱し別室で協議の結果別記(本紙一頁)の通りの「決議、宣言」が全員拍手の裡に採択された。

起草委員

●黒田坦海(茨城県仏) ●半田孝海(善光寺) ●摩尼清之(東京)

●金子敏子(仏婦) ●井上政徳(仏青) 以上の五氏

## 各部会報告

かくて各緊急動議を可決した総

他の部会「才一及び才二」でも、それぞれの立場から討議を願うべきだとして回付された。  
3日緬の仏教交流を円滑にしたい(日本仏教總會 中山理々)  
日緬両國仏教會の現状に至る経過を報告し、ビルマ仏教會はWFB憲章の精神に基き、わが國において行動するに當つてはWFBジャパン・センターである全日本佛教會を通すべき原則をビルマ側に確認させよとの提案理由の説明があり、ピース・ボグダ、釈尊正法會等についての報告及び意見の開陳を経て、交流円滑の具体策は全仏當局で善処せよとの結論に達し、可決された。

3日中華人民共和國仏教人の訪日を促進したい。(日本仏教總會)  
提案者により主旨の説明が行われ、速やかに代表の招請を実現して欲しいとの発言があつた。これに対し賛成意見の開陳があり満場一致で可決した。なお、これについては既に準備委員会が出来ているので、趣旨の線にそつて実現を促進したいと國際局長より報告があつた。

3日南北仏紀二千五百年を記念し、仏教興隆運動を全国的に展開しよう。(真言宗智山派 阿部竜伝)  
二千五百年を記念すること自体は何等異議はなく、且つ記念事業の國際文化會館の建設、百科辭典の刊行も異議なく賛成された。しかし、これを記念して全国的に行う仏教興隆運動は、むしろ才二部会で討議されるべき問題であり、且つ記念事業の資金調達も国内的に募金するところから、興隆運動や募金運動の討議については才二部会へ回付することと決定した。

## 閉会式

總會を無事終了しその後二、三の報告が行われた後少憩をして直にその会場で閉会式が行われた。司會者による開式のことばに次いで高階會長親下導唱による三篇依文同誦、渡辺理事長代理の挨拶、浅草寺執事長の挨拶が続いて行われ、参加者代表して静岡県仏代表の一人である田中鑑光氏より咄々として代表としての感想と、感謝のことはがのべられた。氏は最後に声を大にして「本大會で色々なことを学んだが我々全日本の仏教徒が今こそ宗派、年齢、性別僧俗の別をのりこえてしつかり手をにぎり合う時である事を痛感した」と結んだのには一同大いに共鳴を感じたことだろう。  
次いで仏青、仏婦有志の発唱で仏教徒の歌の合唱の内に三日間に至る大會の幕は靜かにおろされたのである。



# 各部会展望

## 活気ある発言 異色ある運営

今大会を省みて先ず思うことは会場を担当せられた浅草寺御当局的御支援と御熱意と御苦勞に対する感謝と云うことである。今更言葉をもつて表す事の出来ぬほどのものがある。その温い心遣いは参加者一同の同様に感銘したところ決議となつて表れたのも宜なりと云うところであらう。

総会部会を通じて感ぜられる事は従来の五回共何れも静寂な山の御本山を会場としたのに比し東京の真只中喧騒と雑沓の中で行う大会がどんなものか最初は相当心勞したものであつたが開会して見ると意外に静かである一〇〇〇名になん／＼とする大衆が三日間を通じて実によく整然と行動し、討論会各部会にもよく出席せられた事である。流石仏教代表であるところある報道関係者も語つていた。

その発言の様子を見て従来は特定少数の人々の発言のみが目立っていたが今回は各部会共発言者多く、尙且婦人、青年、尼僧等の各位の発言仲々活潑で時に部会をおかせる一幕もあつたほどである。之は一部会長副部会長議長事運営委員の皆さんの協力と指導による事が極めて大であつたと茲に声を大にして叫ぶ所以。仏教徒会議もその形式運営に付ては漸く一人前となつたと云うべきであらう。

但その内容に關しては未だしの感が隨處に見られた。然し乍ら三十有余の各議案が何れも真剣に論

じられ且討議されたと云う事はその出題傾向と照し合せて今後に残された幾つかの問題を除けばまあ／＼と云うところであらう。只依然として各宗門からの提案と都道府県仏教会の提案が無いではないが非常に少いと云う事は某代表によつて指摘された通りであるが夫々の責任当局者としては更に一層考へてもらいたいところ、本大会を軽視したり、無視しようとするのではない事は良くわかつている時の流れは刻々に進んでいる、現実と対決している事をお互に考へねばなるまいと思ふ。今少しく提案の内容にふれてみよう。

### 才一部会 (教化問題)

この部会では部会報告にある通り多くの問題が論じられたが終始和やかで運営技術も仲々巧且発言者が正面に出て堂々と発言する際会衆一同静かに耳を傾けていた様子は傍聴者にも快よかつた。本部会では先づ「幼少、青年に対する一貫した教化対策を樹立しよう」と云う事が熱心に論ぜられ之を繞つて「仏教幼稚園、保育園の教職員に仏教的教養を与える方途を講じよう」「仏教思想を根底とする「倫理」を明らかにして、今日の道徳教育に寄与しよう。」

等々が盛に論じられた。殊に現代教育への仏教者の発言が余りにも弱く且散碎的である事は残念である。この際更に組織的

且政治的？に有効なる発言を行い何とかして頹廢、混乱の現況に清風を注がねばならないと叫ばれた。この部会の婦人、殊に尼僧は「現代のマスコミ対策」の議案は春泥尼開題で話題をなげた時だけに一同が期待したところであつたが、若い尼僧さんの真剣な叫びには共鳴したが、廻り下げが浅く且マスコミの実態に対する認識不足から惜しいところで見切れとんぼの形で終つてしまつた。

本部会で今後大きな宿題を残した議題は「全一仏教運動の綱領をつくり、今後の運動の進展を期そう」と「全一仏教は三法印を中心として展開すべきである」の二つである。殊に後者の提案理由の説明行われるや三、四の出席者から猛烈な批判的質問がとび出し仏教は必ずしも三法印のみではない、四法印だとする意見と之に反対する意見とが入り乱れて仲々活潑だつた。提案者もガンとして一歩も退かず部会長も一寸困つた形で部会の空気がものすごく緊張したが偶々出席していた長井副会長の該博な説明が一応問題を将来に残して終つたが之は更にもう少し静かに深く掘り下げる必要があつたのではなかつたらうか。

### 才二部会 (全一運動)

この部会は三百名近い人員で最初から活気を呈し会場の関係で部会長最前が暗く且附託議案も各部会中最も奮斗にもかゝらわらず時々熱心の余り議事が混乱する等の事があつたが二日間に亘り実に熱心に真剣に研究討議が行われた。本部会は今日の「全一仏教運動は如何に展開するか」を中心議題として

いるだけに冒頭之が話題となり山本部会長と栗本局長との間で二、

三のやりとりが行われた。その後次々に議事が進められてゆく内に部会長発言を繞つて又々騒然となり止むなく一時休会を宣する等部会中最も活潑であつた。平和運動の国内展開に關する問題、教職員勤務評定問題等々、社会問題と直結した問題もあつたので才三日目の最後まで発言も活潑、傍聴者も超満員のまゝで最後の總會きり／＼まで討論が続けられた。

### 才三部会 (国際問題)

才三部会は主として仏教の国際問題であつて全仏の性質からいつて国内仏教運動も無論大切な事であるが、日本仏教の国際性からいつて重要な面を受持つているにもかゝらわらず他の部会にくらべて出席者が少なかつたことは遺憾に思ふ。

部会場が幼稚園の講堂で他の部会と離れていたことにも原因するが、やはり熱意の問題であると思われた。やはり各団体から多数の代表が出ているのであるから夫々の団体で三部会に人数を配置して出席して貰えたらと考へさせられた。次に提出議案について考へられることは、もつと日本仏教の世界的宣揚について活潑な意見と討論があつてほしいと思つた。

たゞ、正副部会長や当局が非常な熱意と誠意をもつて答へたことは特筆であらう。来年からは矢張り本部提案を主にして当局の運動方針を明らかにしてこれに討論をすつかり行い、そして決議された以上は仏教徒全体の責任として当局と共に決議の具現化をはかつて貰いたい。それでなければこの會議の本當の意味がなれないと思ふ。仏教の国際性と日本仏教徒の責任を痛感し今後の全仏が益々強固になること祈りつゝ、各代表の今後の健闘を祈つた。

# 会議の開かれるまで

## 舞台裏の動き

才六回大会の開かれるまでの関係者の苦勞は仲々並大抵のものではない。これこそ楽屋裏の苦勞と云うところ、表舞台の華かさにかくれてともすれば忘れられがちなものであるが今後の参考のために、も概略を追うて摘記して見よう。

◎全日仏事務局と浅草寺との接渉  
東大寺大会で決議されたとは云うもの、東京大会だけに事務局も慎重を期し、渡辺理事長、太田事務局長就任と同時に栗本組織局長を中心に浅草寺との接渉を開始した。

浅草寺亦仲々の慎重さで再三山内会議を開いて熟議した末、三月末執事長正式に全日仏を来訪された。大会々場受諾の挨拶をされた。

◎合同準備委員会の誕生と活躍  
去年秋才五回大会が東大寺で盛大にくり広げられ無事終了して間もなく事務局に於ては組織部を中心に東京大会の構想がねられていた本年四月全日仏常務理事、浅草寺当局、東京仏教団常任理事より成る才六回大会準備委員会が誕生し爾來数回に亘つて浅草寺、全日仏等を会場にしてこの会が開かれ決議全体の構想、弘報宣伝、運営等が決められ、最後の準備会は去る六月五日全日仏に於て開かれ本大会の準備の仕上げが行われた。

◎各委員会への諮問  
その後事務局が各方面との接渉の結果逐次大会構想が具体化して来たので、議案の内容放送討論の可否論議師の顔ぶれ等を繞つて全日仏内にある組織、教学教化、社会平和各委員会の開かれた際に

本大会の諸問題を提案して委員の意見を聞いた。各委員亦々仲々活潑に意見を開陳し特に放送討論会をN・H・Kに一任するか、全日仏単独で行うかに就ては仲々意見がわかれて大変であったが、結論として最初の試みではあるが思い切つてN・H・Kに一任して全日仏教徒の声をぶつつけ本番で聞いてみようとする事になった。

又従来の会議の欠点を反省し長所をのばすための各種意見も仲々活潑にのべられ大会運営に大変有意義であつた。

### 浅草寺当局の活躍

さきに記した通り浅草寺当局は本大会開催正式受諾と共に実に十数回に及ぶ準備会を開き、細心の注意と豪放な企画とを樹立し着々と準備をすゝめ、遂に今回の盛会にまで導いてくれたのである。その間の執事長さんを中心に壬生塩入、清水谷師を始め当局の苦心と努力は想像に余るものがあり、関係者は何れもその誠意と熱情に敬意を捧げている。

### 運営委員会の誕生と活躍

準備次才に進み期日亦切迫して来たので全日仏では五月下旬愈々準備委員会を発展解消して「大会運営委員会」を構成し委員には主として準備委の中から夫々のベテランを委嘱任命した。

運営委員会は任命と同時にその才一回会向を去る九日浅草寺に於て開き続いて連日会議を重ねて大会運営の万全を期し愈々大会に突入して来た。本大会の運営の如何は一にこの委員会の双肩にかゝつて

いる。運営委活躍が期待されたが果せる哉総会、部会共議運の活動は活潑であつた。

### 運営委員会委員

○壬生台舜(浅草寺) ○三谷金祥(日蓮) ○別所竜城(曹洞) ○深

# 大会回顧うらおもて

浅草寺 鹽入 亮 達

全山三局より仏教徒会議会場担当として、回顧雑感と云つたものを書くように依頼されたので主として準備面について或は今後の御参考になるかと思つて若干裏ばなしを交せて記してみる。

幸い雨期にもかゝらず天候に恵まれたことは、逆の場合を想像するだけに、お互に幸運を天に謝せずにはいられぬ。身延、奈良両大会に私は参加して会議の運営は大体想像できたが、従来の会場が深山幽谷の静寂清浄な環境であるの比較して何かと騒々しい浅草の歓楽街の真只中に会場を設置することは、先づ期日、時間の決定から考慮して行かねばならぬ。

開会式場に本堂を使うことは先づ参詣人に本堂参入を中止してもらい、その時間には、境内のストリップの小屋掛から流れる防音法にひつかゝるようなレコードの拡声音を中止してもらふことから始まり、モータープールの設置受付歓迎アーチ便所等の建設椅子を六百脚借用することに至るまで色々な面について考えて行かねばならなかつた。

屋敷弁当について、従来の例から直接接扱を避けるよう高橋部長より参考意見をうかがい、業者と直接取引をしてもらうようにしたが、実は業者も仕入れ等の関

井惠竜(本派) ○自見直(大派) ○狩野獲麟(同志クラブ) ○今井祐申(東京仏) ○小野塚潤澄(豊山) ○壬生照順(仏研) ○矢野隆夫(仏青) ○船口暉子(仏婦) 以上十一名

係で大よその数を知らないと申入れがあつたが、当方として予測がつかず結局才二日三日の申込みを受けることとした。

宿舎については当初上野見明院(今井祐申師)の書院と浅草海禅寺(後藤師)の庫裡に二百名位予定して両師にお引受を願つた処、送り迎えの点やら設備費用の点でかえつて御迷惑をかけるので幸い浅草近くの旅館にすべしとの意見が出たので業者を寺に呼び一泊三百五十円也で交渉したら首をかしげて観音さまに御奉仕する意味で寺から若干の補助を替へ、手洗所の改造等、外は庭園の整備、古い倉庫の取りこわし、植樹、石塀の建設と、大会以前の様子を御存じの方には、変化の状況が分つていたやたらう。

才三部会場は浅草寺幼稚園の講堂を使い、小ぢんまりした会場となつた。N・H・K主催放送討論会々場に當つた浅草公会堂も、昨年より台東区長に公会堂の改装をお願いして約百数十万円の費用を投じて椅子の購入、場内塗装、階段、入口玄関の改装をしたが、これは

区役所始まつて以来の補修である。浅草寺山内では今年始め本格的に仏教徒会議実施の決意を固める

と同時に当局は、全員(執事長六部長執事録事)準備委員となつて打合せを繰返した。会場荘厳に当り特筆すべきことは、名古屋の鈴木錦吾師が、五間に七間の大仏旗と大法輪旗の貸与を申出られたことで間口十九間、奥行十八間、高さ九十七尺の大本堂正面にかけたところ正に壮観を呈したことである。

次に才一、才二部会場に當る本坊の建物は、終戦後名実共に本堂中心で(寺務所も本堂階下にある)来たので少しも手が入つておらぬ。今秋の本堂落慶記念大開帳の際に地方からの団体参拝の一時休憩所に使うことを予測して、建物内の掃除、改造、照明、ゴザを百数十畳購入、廊下大玄関の灰汁洗い、湯油し揚の改造、ガスレンジの備付け等を行つた。

要するに毎年何処かの場所で開催される大会の縁によつて、仏教各宗門の僧俗が聖徳王の云われた和合精神の通り、全一、相互交流によつて、一大宗教としての大乗仏教の基盤を固め平常の俺が俺の気が持が全一仏教運動に至つては霧消して行くところに世界平和と実現の具体的な宗教運動の強さが生れて味らぬと思ふ。それは一人二人の力ではどうにもならぬことが浅草寺山内職員約七十名、一山二十名、所属信仰団体、信者浅草仏教会、全山仏教事務局等、二百名の協力によつてなされた今大会の結果から敷衍して見てよく分つたことである。

と同時

# アジア文化会議について

ことのおこり

南方の仏教諸国では一昨年から昨年にかけて夫々の国の政府が主催して仏紀二千五百年式典が盛大に行われた。わが日本仏教界からも百二十余名の多数が代表として招請され深い感銘をもつて帰つた。

特にインドではネール首相が二十数億の巨費を投じて各仏蹟が立派に修理されたことは世界の仏教徒にとつて感激深いことである。これらに対しわが日本でも南方仏紀二千五百年を協賛する各種の国内行事が一ヶ年間行われた(花まつりウエサカ、その他各地の記念講演会、学会等)しかし外国代表を迎えての国際的な式典をぜひ開催し諸外国に伝えるべきであるとの意見が各方面に相当に出てきた。

そこで全仏当局として昨年の五月ごろから衆参両院の仏教関係に働きかけその賛意を得てだんだんとその機運が具体化してきた。

特に岸首相が昨年二回にわたる東南アジア訪問によつてその必要性が認識され、岸首相に關係深い永野現運輸相や仏教議員がこの問題を推進され本件もようやく本年の国家予算に仏教文化會議補助金として計上され、その予算委の審議にあつた本会から外務省当局に資料等を提供して予算が可決されたのである。

その後の準備

ところが衆議院の解散総選挙によつて準備事務がおくれ準備事務局長に松村謙三氏の推選によつて本会の国際委員長の伊藤史史氏が推薦され準備が進められてきた。

そして準備委員は各界から出ることになり仏教側も個人の一文化人という立場で参加することになり二十名近くの委員が六月十六日才一回の委員会に出席した。

アジア文化會議と仏教界との關係 この文化會議は政府補助金によるため信教の自由を立前とするわが国の憲法の立場から一宗教団体への補助が出来ず従つて一個人として協力する立場をとつて一人と全仏は独自の計画にもとづいて全仏ではこのアジア文化會議を機会に単なるお祭りさわざでなく仏教興隆運動を強力に展開すべきであつて本當の意味の仏紀二千五百年祭とすべきだとの考へから去る六月の浅草寺大会に阿部電伝氏の提案となつてあらわれ万場一致可決されたのでこの実施にあつては重永理事長はじめ常務理事會事務当局等も固い決意をもつていたので独自の計画と六千万仏教徒の総意を結果してこの実現に努力すべく準備中である。

重永理事長から  
才一報  
六月八日羽田空港を出発し途中三等宮殿下御一行と共にロス市で一泊し十三日サンパウロ市についた。サンパウロ市長の招待で一週間才一等のホテルと専用車が提供され快適な一週間を過した。十八日には記

## 祭五十年移民ブラジル 物故者慰靈法要盛大に行わる

念式に引つゞき邦人物故者の慰靈法要が盛大に営まれ大谷光昭師が導師された。

これには創立早々であるが在伯仏教各宗連合会が協調しこれに協力されいままでの心配した点は除去され非常に明るい気持ちになつた。

これからブラジル各方面と接し六月廿五、六日ごろニューヨークへ行き、さらに七月五日からロスアンゼルス市へ行き、ハワイを廻つて七月下旬帰国の予定であるが、北米、ハワイでは宗教事情をつぶさに視察し日本仏教の今後についての諸件も十分に話合つてきたいと思つている。

全仏当局の方をはじめの各宗諸大徳によるしくお伝へして下さい。

### セイロン比丘来日

セイロンのコロンボ市にあるヴァデラマ寺の主管であるK・マハナーマ師は在家信者を伴い日本仏教の有名寺院などを参拝する目的で卅一日正午横浜港着のフランス船ラオス号で来日した。師はピルマ及ネパールで開かれたWFB會議にも出席したが、最近までロンドンに於て仏教活動に従事して来た。なお師は依頼されれば英語による説教もするとの事である。亦同師の全仏歓迎会は廿八日午後二時築地本願寺にて開催された。

### アメリカナンダ比丘が来日

ネパール仏教会々長アメリカナンダ長老比丘は去る六月七日午前

九時半羽田着日航機でハワイ經由来日した。空港へは石川局長初めネパールの世界仏教徒會議へ出席した面々も出迎えた。なお師は欧米での布教活動を終えて帰路日本に立寄つたものであるが近く全仏としての歓迎会を持つ様に計画中である。師は六月十四日東京浅草寺で開かれた才六回全日本仏教徒會議開會式にも来賓として出席した。

師は関西方面を見学の後再び上京するので全日仏では七月九日盛大な歓迎会を東京で行う筈。

### 『日本仏教史料』を中国の一居士が著作

中華民国高雄在住の医者唐末玄居士は熱心な仏教徒であるが今度在日中華民国大使館を通じて現在著作中の『日本仏教史料』なる本の資料として日本仏教の慈父と称せられる聖徳太子を初め諸大徳及び有名寺院などの写真乃至は画像の入手方を申入れて来たので全日仏では早速関係各宗へお願いすることになつた。

### 海外邦人物故者孟蘭盆法要

今年には本派本願寺で

NHKでは施主となつて過去数年遠く海外で散つた邦人の追悼法要の実況を電波にのせて放送しているが本年も七月十五日(火)の孟蘭盆会を期して京都の本派本願寺に於て実況を録音して放送する事になつた。本年は一九五六年七月以降一九五八年六月までアメリカ西部北米、南米、ハワイに於け

る邦人物故者の法名をアナウンスし唱えて供養する事になつており、すでに多数の海外仏教各宗派開教所から本会へ報告が成されており感儀が期待されている。なお同国際放送は海外からも非常な関心をもたれており引続き継続してほしい旨の意向も寄せられている。

### 都内寺院めぐり

十七日午前九時から午後六時まで、東京仏教団主催による大会出席者歓迎の意を含めた都内寺院めぐりは参加者一三〇名、バス四台に分乗し浅草本願寺、上野寛永寺、麻布永平寺別院、調布深大寺、小石川伝通院、築鴨高岩寺(とげぬき地蔵)、音羽護国寺の各寺院諸施設を見学、各寺はそれれ、一山を挙げて参加者を歓迎記念品等を贈られ感謝の極みであつたことを、関係寺院の協力に対し特記して置く。

### あとがき

才六回全国會議もどうやら無事終つた、関係者の皆さんほんとうに御苦労さんでした。

国際、組織その他の委員会が大會議事項を処理する為早速一日から汗みどろになつて連続開かれている。

このまゝではいけない、何とかしようとの熱意が溢れている、有難いことだ。

暑気急に加つて来た、全国の皆さんの健斗を祈る。(た)